

来年 4 月末から天皇陛下退位と即位だけでなく、10 月には消費税増税が決まり、忙しい年になる 2019 年ですが、もうひとつ企業にとって試練となる「有給休暇制度」の変更が決まっています総務・人事系も忙しい年になりそうです。

来年 4 月～、全ての企業において年 10 日以上有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年 5 日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要となります。
また、企業側は、労働者ごとに年次有給休暇管理簿を作成し、3 年間の保存が求められています。
詳細は顧問先の社会保険労務士か、労働基準監督署にお問い合わせいただきたいのですが、企業として何らかの対策が必要な状況となるそうです。

時季指定義務のポイント

労働者の申出による取得（原則）



労働者が使用者に取得時季を申出
「〇月×日に休みます」

使用者の時季指定による取得（新設）



使用者が労働者に取得時季の意見を聴取
労働者の意見を尊重し使用者が取得時季を指定
「〇月×日に休んでください」

+

コムデックの解決策！

クラウド型シフト
& 勤怠管理サービス





独立行政法人労働政策研究・研修機構の調べによると、有給休暇の取得が年 5 日以下の正社員は、45.7%にものぼることがわかっており、一部では「有休休暇制度はあるが、申請書が無く取得できない」なんて会社もまだあると聞きます。
当社の有休休暇取得率は ... チョット公表できないですね、これは不味い事になる予感。早く対策が必要になりそうです(^^;)。

年次有給休暇の時季指定義務「厚生労働省リーフレット」



当社は 2018 年総務・人事系の改善を進めてきましたが、時流としていよいよ総務・人事系の仕事の IT 活用、クラウド化が本格化してきています。
総務・経理業務の性格上、前例踏襲となり硬直化した運用が行われているケースが多々ありますので、IT 活用した際の業務改善インパクトも大きなものがあります。
今回の「お客様 IT 活用力向上セミナー」では、今後の総務系業務のありかたのヒントだけでなく、実際に当社の総務業務において改善効果の高かったサービスを幾つかご紹介いたします。

月末になると忙しい？月末に集中する作業を日々こなしていく仕組みや、パソコンの前で電卓を使うような作業を減らすことで当社ではそういった概念は無くなりました。
経営者様だけでなく、総務担当の奥様や、総務経理担当者、IT 担当者の方に今回のセミナー参加をお勧めいたします。



参加費無料！！

お客様 IT 活用力向上計画 第三弾 「総務・人事編」その①

11月22日(木) 15:00～17:00
12月18日(火) 15:00～17:00
【会場】 弊社セミナールーム

>> **お申し込みはこちらから！**
<https://www.comdec.jp/seminaentry/>

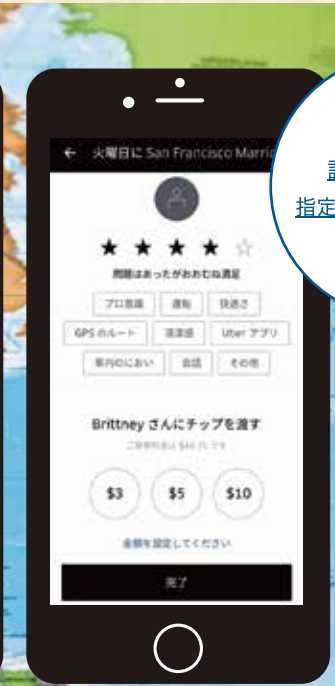
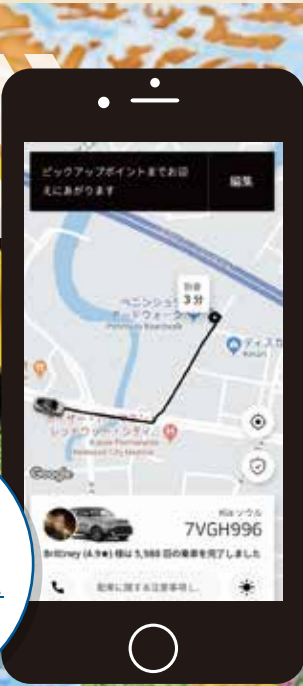


配車アプリ

Uber



“どんな車が配車されるのか”
事前に把握できます。



降車後に
評価とチップを
指定すれば利用完了！
簡単です♪

サンフランシスコでUber (配車アプリ)使ってみました！

一昨年に引き続き、サンフランシスコ、シリコンバレーの IT 企業へ訪問させていただく機会をいただきました。
アメリカでは Uber と、ほかに Lift (リフト) など、日本では法律で禁止されている個人の自家用車をタクシーの様に使う配車サービスが既に一般的になっています。
滞在中の数日間に、市内の移動から、シリコンバレーへの数十 Km 移動まで、自分達でこなす必要があり、配車サービスの Uber (ウーバー) を使ってみたのですが、利便性に感動しました。

Uber アプリで目的地を指定するだけで、料金、車種、ナンバー、運転手の評価まで判った状態で、お迎えの車の移動状況がリアルタイムで表示され 2～5 分程度で配車されます。
後は乗るだけで事前登録のクレジットカード決済で支払も無く、英語を喋る必要の無い、誰でも使える簡単な仕組みでした。
英語が全く喋れない観光客の私が気軽に移動出来、行動範囲が広がり、予想しなかった体験や場所に行けたので、Uber は大満足のサービスとなりました。
悪質ドライバーによる配車トラブルが 1 回だけありましたが、デメリットよりメリットが余りに大きいサービスで、日本でも早く導入されて欲しいサービスです。

過疎化が進む伊勢志摩でのタクシー不足は深刻で、出張から夜戻って駅にタクシーが居なくて途方に暮れた経験がある人も多いです。
お隣の鳥羽市はタクシーの営業所が閉鎖されるなど、住人も観光客も不便度が増してるので、Uber 規制されている日本でも地方優先で早く開始して欲しいですね。
観光客の方に良い体験して貰って、また来て頂きたいなら、世界で当たり前になりつつある配車アプリによる、移動の利便性向上が必要と感じた Uber 経験でした。



樋口：いつもお世話になっております、モニターで隠れて会社に入ってきても社長の顔が見えませんか（笑）

樋口：もはや信念ですね。

西村社長：突然お客様がいらっしゃっても自分の顔が見えないから助っていますね（笑）

樋口：しかし凄いモニターの数ですね。縦置きまで含めて社長は、1,2,3...7 台、スタッフさんは5台が標準の状態になってますね。当社でも3台が標準ですが、何故ここまで増えたんですか？

西村社長：いろいろやってみましたが、モニターは多ければ多いほど良い、生産性が上がるのが明白にわかったからです。

樋口：確かに1枚のモニターで仕事すると効率悪いと私も感じますが、普通のスタッフさんでも5台のモニターを使いこなせるのですか？

西村社長：あれば自然に使ってもらっています（笑）
コムデックさんで作ってもらった、「販売管理」は勿論、EXCELの「売上明細」「仕入明細」「在庫明細」、Outlook メール、Google カレンダー、Dropbox、Evernote、さらにはフードデフェンス対応の倉庫や工場のモニターカメラなど、これらを常に同時表示させて仕事してもらってます。

樋口：凄いといしか言いようがないです、感動～。

西村社長：それらを常に同時進行で見ながら、素早く対応してもらっているの、意思決定が早く、生産性が向上するのだと思います。

西村社長：いや～、そうじゃなくて、便利さを追求したらそうっただけです（笑）
注文や問い合わせに対する電話対応が格段に速くなって、スピーディな対応をお客様に評価してもらってるのと、弊社は少人数で仕事をこなしていく必要がありますからね。

樋口：電話注文の対応を見学させていただきましたが、複数のモニターの情報を見ながら、驚くほどのスピードで受注作業が進んでいましたね。このスピーディーな対応が、御社の強みに繋がってるわけですね。
IT だけでなく、この壁に貼ってあるカレンダーも特徴的です。

西村社長：常に三か月分貼ってあります、しかも最初の月のは大きいカレンダーにして、すこしでも間違い難くしています。
時計も一人一台同じく設置して、お客さんと話をしているときに、パッとみて正確に納期などの日時を提示するための工夫です。
ヘルメットもそう、また今度は発電機の話もありますがBCP 対策とか、当たり前の事がキチッとまずできていることが大切なんです。

樋口：同じ経営者として西村社長の考え方に感服です。

西村社長：Dropbox とか Evernote の活用は当然ですが、いろんな IT サービスをうまく活用するのが大切です。
Evernote ノートになんでもかんでも送り過ぎて3万ノート超えて逆に使いにくくなったり、IT ってトコトン使ってみないとわからないですね（笑）

西村社長：電話もね、いまはかけ放題になったので会社からの発信は携帯電話ですが、海外とのやりとりには、以前はSKYPE 使ったりしていましたが、今は海外との通話はライン電話等、中国はウィチャット、韓国はカカオトーク、北米・ヨーロッパはWhatsApp(ワッツアップ) 等と、国と地域によって使い分けています。念のためイリジウム(衛星) 携帯も備えて万一の時はすべて衛星電話に転送される様になっています。

樋口：そうでした！そういえばミツ様からは毎回違う電話番号や非通知でよく電話かかってきていましたね。



スタッフの方の机も5つのモニターが標準となっています。

★時計：各自1台ずつ設置し、すぐに時間が確認できるよう工夫されています。

★カレンダー：今月、翌月、翌々月まで納期を確認できる大型カレンダーを利用。そして今月は更に大型化して可読性を上げる工夫をされています。

西村社長：便利さを追求していったら、解決方法がIT だったのが多いというのが自然ですね。

樋口：それでは最後に弊社に一言激励のお言葉を ...

西村社長：もっと、日本の企業が発展するお手伝いになるような、IT を使った提案をコムデックさんにはどんどんして欲しいですね。

樋口：本日は長時間の取材、ありがとうございました！

**樋口社長の一押しモニター！
「iiyama ProLite XUB2390HS-3」**



当社でも6台購入した、枠がフラットで、角度、高さが調整しやすいスタンドを装備したモニターです。と言っても高額でもなく2万円ちょいで入手可能です。マルチモニターによる生産性向上から考えたら安いアイテムです。ご検討ください。



経営者様向け情報

IT 導入補助金 ラストスパート！



11月19日の交付申請締め切りまで残り約二週間となりましたが、ご利用の検討はお進みでしょうか？
経営者様におかれましては、「IT 化、IT 活用ってそんな騒がなくても ...」「メンドクサイな～」「今のままで困ってない」そんな気持ちがあるのはわかりますが、しかし一方で「これからはIT 活用が重要」という思いもあるはずです。

競合他社や主要取引先がIT 活用進めてきたら、一気に差がつくのも事実です。
他社より先にIT 活用をすすめたいが何からどうすればいいのかわからない... そんな方にこそIT 導入補助金はお勧めです。

先月号のImadoki でもお伝えしましたが、来年度の消費税増税にむけた販売管理システムの更新にもつかえるなど「IT 導入補助金」の活躍の場は広いです。
なにをどうすれば判らないって方は是非当社にご相談ください。

私が所属するITCA (IT コーディネーター協会) の独自集計では、2次の採択率は50%前後と推測され、1次より厳しい結果となったそうですが、弊社案件では92% 採択されています(不採択の1件は再提出中)。
予算500億円に対して消化されたのは僅か100億円ですので、利用しなければ損、まさに「IT 導入給付金」状態が続いている今回の補助金を是非ご活用ください。

弊社 IT 導入補助金申請&採択状況

第一次：申請 6 件 / 採択 6 件 **100%!**
第二次：申請 7 件 / 採択 6 件 **85%!**
第三次：申請中 7 件 **・・続々増加中!**